

## 2019 学校祭 無事閉幕しました！

夏休み明けから取り組んできた学校祭の取組も、3日の文化祭、4日の合唱コンクールをもってすべての行事を無事終えることができました。特に、学校祭を飾るこの最後の2日間に向けた取組は、中身の濃いものになったことでしょう。

ところで、今年の学校祭スローガン『完全燃 SHOW』について、文化祭最初のあいさつでお話ししたことを覚えているでしょうか。「完全燃焼」という言葉は元々は物理・科学で使う言葉で、「可燃物が十分な酸素の供給のもとで完全に燃え尽きること」をいいますが、それが転じて、「持てる力を完全に出しきること」という意味で使われています。また、今回は「燃焼」の「焼」を英語の「SHOW」に置き換えていますが、「SHOW」とは「ものを見せる」「目立たせる」「展示する」等の意味があり、どちらの意味においても学校祭にふさわしい言葉でした。一方で、「見る側」に立った時のことでもお話ししました。「見る目がある」という言い方をすることがあります、この「見る目がある」とはどういうことかと言うと、「表には見えないことも正しく評価できる力」です、つまり、今回で言うと、本番までの努力だと頑張りも含めて正しく評価ができる力だと思います。皆さんの「見る目」はこの学校祭を通して成長したでしょうか。また、拍手という形でその評価を伝えることができたでしょうか。いずれにせよ、この学校祭期間は普段の学校生活では得ることができない経験ができたと思います。一緒に喜び、一緒に悔しがって築き上げてきた集団の絆を大切にして、今年度残り半年の学校生活に活かし、3年生はそれぞれの進路実現に向かって、2年生は西ノ京中学校を支えていくのは自分たちなんだという気概を持って、1年生はその二つの学年の背中をしっかりと追って、それぞれの歩みを進めていってください。最後になりましたが、この間、お忙しい中、何度も足を運んでいただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。今後も様々な場面で励ましのお言葉をいただけると幸いです。

## 創造力を發揮した文化祭 速報！



10月3日（木）、文化祭の舞台発表が始まりました。まずは生徒会本部による軽快なオープニングビデオ。そして、生徒会からの実践報告がありました。本校から2名が参加した全市生徒会サミットと夏休みに取り組んだ生徒会リーダー学習会について成果も含めてわかりやすく報告してくれました。

続く各学年の発表では、総合的な学習の時間で感じ取ったこと、学んだことを工夫を凝らして発表してくれました。

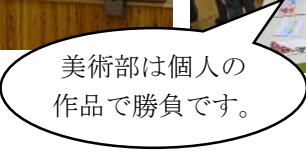
1年生の発表は、『嵯峨・嵐山ものがたり』です。5月に実施した班別フィールドワークをもとに、映像をうまく使って発表してくれました。

2年生の発表は、『働くということ』です。生き方探究・チャレンジ体験で学んだこと、気付いたことを、劇仕立てでしっかりと発表してくれました。

3年生の発表は、『いちゃりばちょうでい（行逢りば兄弟）』です。修学旅行の民泊の一コマを再現しながら、沖縄戦を振り返り、平和について考えさせる内容の劇を発表してくれました。迫力のあるエイサー、心に響くHY「時をこえ」の合唱も本当によかったです。



舞台の最後は吹奏楽部の発表です。「西瞬」と題して、朝ドラやアニメ・CMなどでおなじみの曲、夏のコンクールの演奏曲「セドナ序曲」など全8曲を熱演してくれました。このステージが最後の演奏になる3年生部員が紹介され、1・2年生からも感謝のメッセージが届けられました。



## 魂がふるえる合唱コン 速報！

10月4日（金）、京都こども文化会館に場所を移して、合唱コンクールが開催されました。この日は、登校したらすぐに朝の合唱練習が始まります。1・2年生は学校で、3年生はどの学年よりも先に会場に入り、本当に気合いのこもった合唱練習です。



文化委員長のあいさつに続き、いよいよ合唱コンクールがスタート！ 会場の雰囲気が一瞬で変わります。

### ●1年生 課題曲 「はばたこう明日へ」



金賞は3組！

### ●2年生 課題曲 「My Own Road」



金賞は1・2組！

### ●3年生 課題曲 「旅立ちの時」



金賞は3組！

### ●1組・生徒会発表曲：手話と歌（十教職員の楽器演奏）



### ●全校合唱 「ふるさと」

心に響く！

